

報道関係者各位

2013年8月  
株式会社ルネサンス

## 脳内シナプスの働きを活性化させ、認知機能を向上させる画期的プログラム 新たに幼児を対象とした「シナプソロジー」の効果検証を実施

株式会社ルネサンス(代表取締役社長執行役員:吉田 正昭、本社:東京都墨田区)は、当社が開発した脳活性化プログラム『シナプソロジー』を使って、新たにジュニアスイミングスクール生を対象に効果検証を行いましたのでお知らせ致します。

その結果、一過性(1回での変化)の効果としては「積極性の感情が有意に向上した」、継続的効果(2ヵ月間プログラム実施の前後)では「認知機能の向上」や「引っ込み思案行動が有意に減少した」などの結果がみられ、シナプソロジーの実践により、幼児の良好な成長と発達を促進する可能性があるとの結論に達しました。

本結果を元に、既に『シナプソロジー』を導入しているルネサンス・トーア沼津(静岡県沼津市)のスイミングスクール以外にも順次導入を予定しており、スクール生の成長・発達促進への後押しが出来るよう進めてまいります。

尚、この『シナプソロジー』の効果検証は、筑波大学体育系・大学院 人間総合科学研究科の田中喜代次教授が代表取締役を務める株式会社 THF で実施致しました。

記

### 1.効果検証について

#### ①概要

シナプソロジーを1回実施した際の変化(一過性効果)、および2ヵ月間プログラムを実施したその前後の変化(継続性効果)について、幼児の心理状態、社会的スキル、身体・脳機能の視点から検証した。

#### ②対象者

スポーツクラブ ルネサンス・トーア沼津のジュニアスイミングスクール生 幼児3歳～6歳の男女 32名(平均年齢 4.8±1.0歳;男児24名、女児8名)

#### ③結果

##### ●一過性効果

- ・積極性の感情が有意に向上した

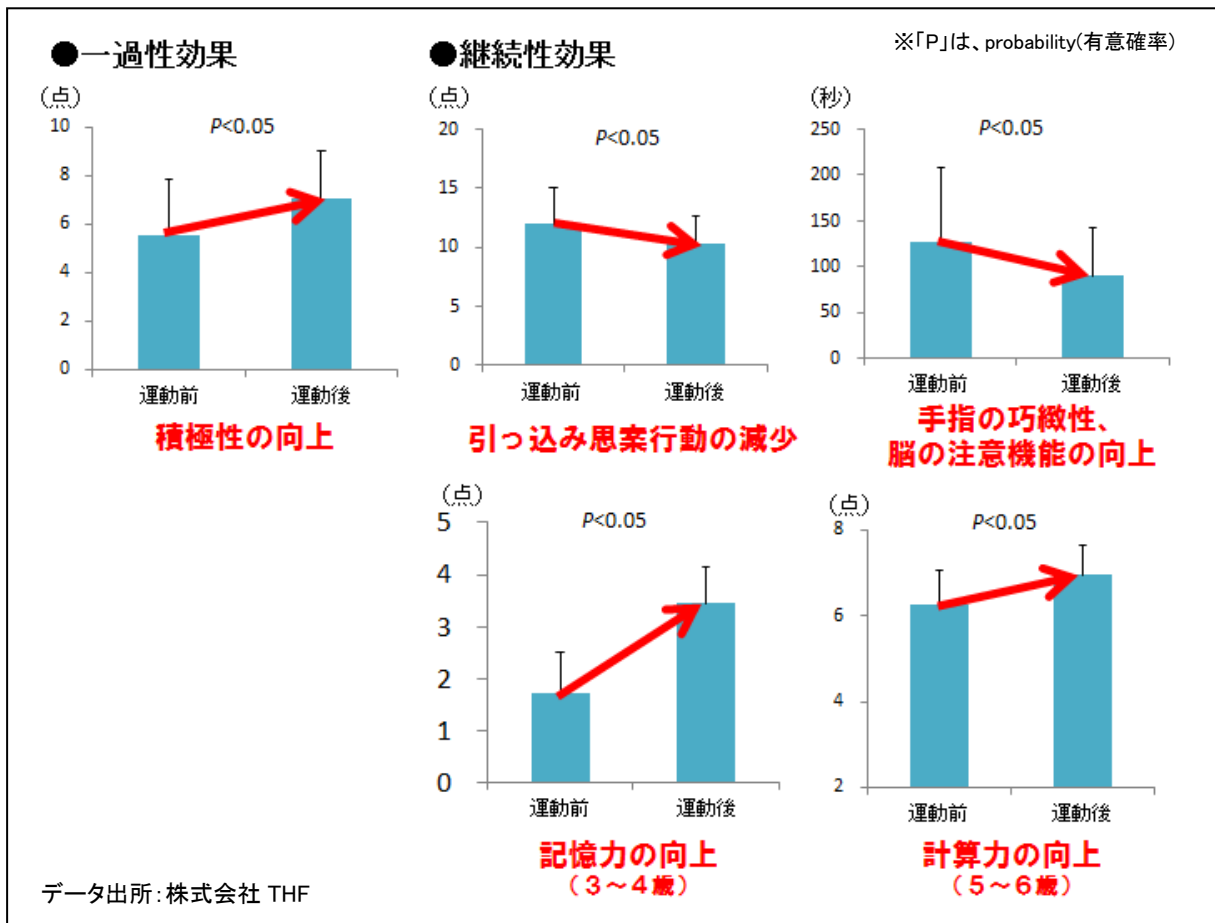
##### ●継続性効果

- ・引っ込み思案行動が有意に減少
- ・手指の巧緻性、脳の注意機能の向上  
(トレイルメイキングペグ移動テストが有意に改善)
- ・3～4歳児において、記憶力が有意に改善
- ・5～6歳児において、計算力が有意に改善



ロゴの由来:脳の中でシナプスが伸びてつながっている様子を表しています。





## 2. 「シナプソロジー」とは

「シナプソロジー」は、五感からの刺激や認知機能に対する刺激を脳に与えることで脳を活性化させ、注意機能や判断能力などの脳機能(認知機能)を高めるメソッドです。出来ること(習得)を目的とせず、出来ないことに対応する状態を作り出すことで脳機能の向上を図ります。

このメソッドの特徴は、場所を選ばずに狭いスペースでも実施可能なうえ、短い時間でも成果が期待できることです。また、参加者の年齢、性別、体力レベルなどに応じてレベル設定が可能ですので、どなたでも簡単に取り組むことができます。

スポーツトレーニングのカリキュラムをはじめ、子どもの遊びの一環や企業の生産性向上の手法、そして高齢者の機能低下予防及び健康増進のプログラム等、多彩な場面での展開が可能です。

URL: <http://www.s-re.jp/renaissance/synapsology/>

本リリースについてのお問合せ先  
 株式会社ルネサンス 経営企画部 広報担当: 村角(むらぐみ)  
 TEL:03-5600-5457 FAX:03-5600-8898  
 URL:<http://www.s-re.jp>  
 〒130-0026 東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 3F